

## ネギ微生物資材試験結果(2016年-2017年)

ネギ定植日:2016/6/10 1区画2列、2m×100mの区分けでスタート 品種:龍まさり

・納豆菌X処理日および処理方法:納豆菌Xを、定植14日前に散布し、土壌混和。その後、チェーンポットCP303にて定植

・トリコデソイル処理日および処理方法:6/28 50gを1000倍希釈し、2列にジョウロで灌注。

10/20 25gを2000倍希釈し、各列にジョウロで灌注。トリコ2回処理および納豆菌X+トリコ処理の計2列。

試験経過:2017/2/2に各区からネギ5株を掘り取り、地上部と地下部の重量を計測。

### 地上部重量

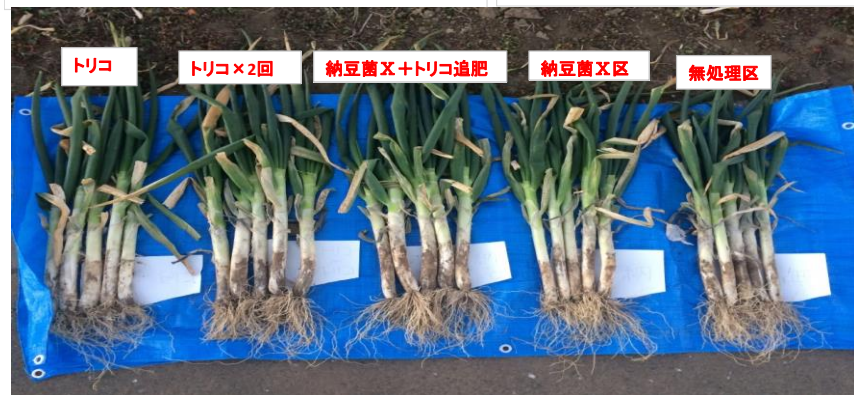
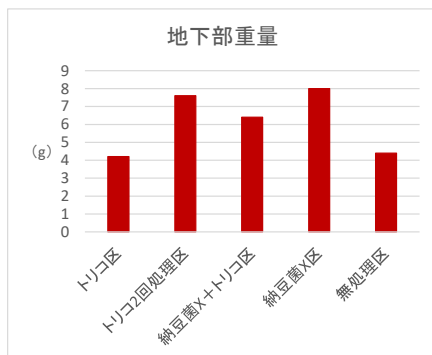
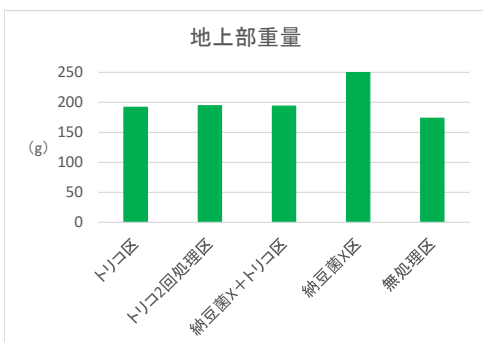
株No	トリコ区	トリコ2回処理区	納豆菌X+トリコ区	納豆菌X区	無処理区
1	174	241	234	304	217
2	187	154	152	212	167
3	206	250	255	284	176
4	176	174	175	240	154
5	216	153	152	210	154
平均	192	194.4	193.6	250	173.6

### 地下部重量

株No	トリコ区	トリコ2回処理区	納豆菌X+トリコ区	納豆菌X区	無処理区
1	6	9	6	6	3
2	3	6	8	8	3
3	4	10	5	6	4
4	4	6	5	10	6
5	4	7	8	10	6
平均	4.2	7.6	6.4	8	4.4

<納豆菌X試験区で見えたポイント!>

- ① 納豆菌X区が根張り良好  
→根の量が一番多かった  
(無処理と比べて181%)
- ② 収量(地上部の重さ)が多い  
(他の区と比べて128~144%)  
→根張りの良さと病害の少なさが要因だと考えられる
- ③ 土作り時(定植15~30日前)の  
施用1回で安定した効果あり  
→土壌を根本から改善して、野菜の生育環境を整えたためであると考えられる。



(撮影:2017年2月2日)

トリコデルマ区  
(こちら側に、前作「黒腐菌核」が発生したネギ畑がアリ)

納豆菌X区  
(※黒腐菌核を含む病害も少なかった。)

無処理区